

総合診療部

Department of General Medicine

教授	山城 清二	Seiji Yamashiro
准教授	北 啓一朗	Keiichiro Kita
助教	薄井 勲	Isao Usui

◆ 著 書

- 1) 北 啓一朗：症例。救急・総合診療プロムナード。「救急・総合診療スキルアップ」山中克郎，北啓一朗，藤田芳郎著，シービーアール，東京，2007.
- 2) 薄井 勲，山城清二：研修医のための詳説卒後臨床研修ガイドブック。「基本的な身体診察法」福井次矢編，84-100，永井書店，大阪，2007.
- 3) 薄井 勲：経口血糖降下薬の選び方と使い方。「第 VII 章. インスリン抵抗性改善薬（チアゾリジン誘導体）の使い方」小林 正編，97-108，南江堂，東京，2007.

◆ 原 著

- 1) Usui I., Fujisaka S., Yamazaki K., Takano A., Murakami S., Yamazaki Y., Urakaze M., Hachiya H., Takata M., Senda S., Iwata M., Satoh A., Sasaoka T., Norel D.A.K., Temaru R., Kobayashi M.: Telmisartan reduced blood pressure and HOMA-IR with increasing plasma leptin level in hypertensive and type 2 diabetic patients. *Diabetes Research and Clinical Practice*. 77: 210-214, 2007.
- 2) Kanatani Y., Usui I., Ishizuka K., Bukhari A., Fujisaka S., Urakaze M., Haruta T., Kishimoto T., Naka T., Kobayashi M.: Effects of pioglitazone on SOCS3 expression: Potential mechanisms for its effects on insulin sensitivity and adiponectin expression. *Diabetes*. 56: 795-803, 2007.
- 3) Ishizuka K., Usui I., Kanatani Y., Bukhari A., He J., Fujisaka S., Yamazaki Y., Suzuki H., Hiratani K., Ishiki M., Iwata M., Urakaze M., Haruta T., Kobayashi M.: Chronic TNF{alpha} treatment causes insulin resistance via IRS-1 serine phosphorylation and SOCS3 induction in 3T3-L1 adipocytes. *Endocrinology*. 148: 2994-3003, 2007.

◆ 総 説

- 1) 山城清二：E R 必須薬 18. *E R magazine*, 1 : 145, 2007.
- 2) 山城清二：E R 必須薬 19. *E R magazine*, 2 : 267, 2007.
- 3) 山城清二：ワンポイントアドバイス 3, 2 : 153, 2007.
- 4) 山城清二：E R 必須薬 20. *E R magazine*, 3 : 275, 2007.
- 5) 山城清二：E R 必須薬 21. *E R magazine*, 4 : 431, 2007.
- 6) 小浦友行，小林直子，室林 治，薄井 勲，北啓一朗，山城清二：CPK 異常高値を示した腹部大動脈破裂の 1 例。総合診療医学，12: (1)89, 2007.
- 7) 小林直子，小浦友行，室林 治，薄井 勲，北啓一郎，山城清二：IM syndrome の鑑別点。総合診療医学，12(1): 99-100, 2007.

◆ 学会報告

- 1) Bukhari A., Usui I., Fujisaka S., Kanatani Y., Yamazaki Y., He J., Suzuki H., Urakaze M., Ogawa H., Kobayashi M.: Systemic overexpression of interleukin-10 improves insulin sensitivity in high fat-fed mice. 67rd Scientific Sessions of The American Diabetes Association, 2007, 6, Chicago.
- 2) Kanatani Y., Usui I., Ishizuka K., Fujisaka S., Bukhari A., He J., Yamazaki Y., Suzuki H., Iwata M., Ishiki M., Urakaze M., Kobayashi M.: Effect of pioglitazone on SOCS3 expression: potential mechanisms for its effects on insulin sensitivity and adiponectin expression. 67rd Scientific Sessions of The American Diabetes Association, 2007, 6, Chicago.
- 3) Fujisaka S., Usui I., Yamazaki Y., Bukhari A., Kanatani Y., Suzuki H., He J., Ishiki M., Iwata M., Hiratani K., Urakaze M., Kobayashi M.: Telmisartan improves insulin resistance by increasing apoptosis of fat cells and decreasing macrophage infiltration in high fat-fed mice. 67rd Scientific Sessions of The American Diabetes Association, 2007, 6, Chicago.

- 4) Suzuki H., Oya T., Usui I., Kato I., Yamazaki Y., Fujisaka S., Bukhali A., Asamizu S., Kanatani Y., Ishiki M., Urakaze M., Takasawa S., Okamoto H., Sasahara M., Tobe K., Kobayashi M.: CaMKII α -transgenic mice shows pathological changes of diabetic nephropathy with enhanced expression of PDGF-B chain and PDGF- β receptor. 67rd Scientific Sessions of The American Diabetes Association, 2007, 6, Chicago.
- 5) Suzuki H., Oya T., Usui I., Kato I., Yamazaki Y., Fujisaka S., Bukhali A., Asamizu S., Kanatani Y., Ishiki M., Urakaze M., Takasawa S., Okamoto H., Sasahara M., Tobe K., Kobayashi M.: The expression of PDGF-B chain is enhanced in the glomerular area of diabetic CaMKII-Tg mice. 14th Japan – Korea Symposium on Diabetes Mellitus, 2007, 10, Kyoto.
- 6) 山城清二：総合診療部門の施設間連携「北陸モデル」，第15回日本総合診療医学会 シンポジウム，2007，3，18，金沢。
- 7) 山城清二：頻度の高い症状・病態への対応：動悸・息切れ，第15回日本総合診療医学会 教育講演，2007，3，18，金沢。
- 8) 北 啓一朗：臓器別診療医との対話，第15回日本総合診療医学会 パネルディスカッション（座長），2007，3，18，金沢。
- 9) 北 啓一朗：EBM と NBM のエッセンスを15分で理解する，第15回日本総合診療医学会 Teaching Pearl コンテスト 2007，3，17，金沢。
- 10) 薄井 勲：IL-10によるインスリン抵抗性改善効果に関する研究（授賞講演）. シンポジウム糖尿病，2007，4，東京。
- 11) Bukhari A., Usui I., Kanatani Y., Fujisaka S., He J., Yamazaki Y., Suzuki H., Ishiki M., Iwata M., Ishizuka K., Urakaze M., Haruta T., Tobe K., Kobayashi M.: Overexpression of interleukin-10 improves glucose metabolisms and associated with decreased expression of tumor necrosis factor- α in high fat-fed mice. 第50回日本糖尿病学会年次学術集会，2007，5，仙台。
- 12) 岩田 実，藤川真理子，山崎勝也，薄井 勲，宇野立人，平谷和幸，石木 学，小橋親晃，浦風雅晴，小林 正，市崎雅子，中川都子，黒澤 豊：富山-大山 Study 短期間の生活習慣介入による糖尿病一次予防の試み. 第50回日本糖尿病学会年次学術集会，2007，5，仙台。
- 13) 金谷由紀子，薄井 勲，石塚 健，藤坂志帆，Agussalim Bukhari，賀 劍英，山崎 夕，鈴木ひかり，石木 学，岩田 実，浦風雅春，小林 正：pioglitazone は SOCS3 の発現抑制を介し adiponectin の発現を促進する. 第50回日本糖尿病学会年次学術集会，2007，5，仙台。
- 14) 山崎 夕，薄井 勲，藤坂志帆，鈴木ひかり，金谷由紀子，アグッサリム・ブクハリ，賀 劍英，岩田 実，浦風雅春，小林 正：肥満脂肪組織由来のサイトカイン産生における Heat shock protein 60 の働き. 第50回日本糖尿病学会年次学術集会，2007，5，仙台。
- 15) 藤坂志帆，薄井 勲，山崎 夕，尾矢剛志，アグッサリム・ブクハリ，金谷由紀子，鈴木ひかり，岩田 実，浦風雅春，小林 正：テルミサルタンは肥満マウスの脂肪組織のアポトーシス促進とマクロファージの浸潤抑制を介してインスリン抵抗性を改善する. 第50回日本糖尿病学会年次学術集会，2007，5，仙台。
- 16) 鈴木ひかり，薄井 勲，加藤一郎，山崎 夕，藤坂志帆，Agussalim Bukhari，浅水幸恵，金谷由紀子，石木 学，浦風雅春，高沢 伸，岡本 宏，笹原正清，小林 正，戸邊一之：変異型 CaM KinaseII トランスジェニックマウス（インスリン分泌低下型マウス）における腎糸球体病変と PDGF シグナルについての検討. 第50回日本糖尿病学会年次学術集会，2007，5，仙台。
- 17) 岩田 実，高野敦子，加藤弘巳，村上史峰，鈴木ひかり，小橋親晃，宇野立人，石木 学，薄井 勲，平谷和幸，山崎勝也，浦風雅春，小林 正：糖尿病合併リウマチ患者における Infliximab（抗 TNF- α 抗体）の糖代謝に与える影響について. 第80回日本内分泌学会学術集会，2007，6，東京。
- 18) 小林直子，岩田 実，鈴木ひかり，小橋親晃，宇野立人，石木 学，薄井 勲，平谷和幸，山崎勝也，浦風雅春，小林 正，林 央周，遠藤俊郎，笹岡利安，福岡順也，加藤弘巳，沖 隆：高分子量 ACTH の産生を認めた下垂体 macroadenoma による Cushing 病の一例. 第80回日本内分泌学会学術集会，2007，6，東京。
- 19) 鈴木ひかり，岩田 実，小橋親晃，宇野立人，石木 学，薄井 勲，平谷和幸，山崎勝也，浦風雅春，小林 正，長谷川真作，浜田秀雄，林 央周，遠藤俊郎，福岡順也：下垂体腫瘍と考えられていたが，術中迅速診断にてリンパ球性下垂体炎と診断された一例. 第80回日本内分泌学会学術集会，2007，6，東京。
- 20) Usui I., Bukhari A., Fujisaka S., Yamazaki Y., Suzuki H., Ogawa H., Kobayashi M., Tobe K: Effect of adenovirus-mediated interleukin-10 overexpression on glucose metabolism in high fat-fed mice. インスリン抵抗性とメタボリックシンドローム研究会，2007，7，札幌。
- 21) Usui I., Bukhari A., Fujisaka S., Yamazaki Y., Suzuki H., Urakaze M., Kobayashi M., Tobe K: Effect of adenovirus-mediated

interleukin-10 overexpression on insulin resistance in high fat-fed mice. 第12回アディポサイエンス研究会, 2007, 8, 大阪.

- 22) 鈴木ひかり, 尾矢剛志, 薄井 勲, 加藤一郎, 山崎 夕, 藤坂志帆, Agussalim Bukhari, 浅水幸恵, 金谷由紀子, 石木 学, 浦風雅春, 高沢 伸, 岡本 宏, 笹原正清, 小林 正, 戸邊一之: 変異型 CaM Kinase II トランスジェニックマウス (インスリン分泌低下型マウス) における腎系球体病変と PDGF シグナルについての検討. 第22回日本糖尿病合併症学会, 2007, 10, 筑波.
- 23) 岡澤光代, 岩田 実, 瀧川章子, 小橋親晃, 宇野立人, 石木 学, 薄井 勲, 山崎勝也, 浦風雅春, 戸邊一之: CoQ10 大量療法により症状の改善を認めたミトコンドリア糖尿病 (3243 変異) の一例. 第76回日本糖尿病学会中部地方会, 2007, 10, 名古屋.
- 24) 岩田 実, 小林直子, 小橋親晃, 宇野立人, 石木 学, 薄井 勲, 山崎勝也, 浦風雅春, 小林 正, 戸邊一之, 林央周, 遠藤俊郎, 福岡順也, 加藤弘巳, 沖 隆: 高分子量 ACTH の産生を認めた下垂体 macroadenoma による Cushing 病の一例. 第18回日本老年医学会北陸地方会, 2007, 11, 金沢.
- 25) 薄井 勲, アグッサリム・ブクハリ, 金谷由紀子, 藤坂志帆, 山崎 夕, 鈴木ひかり, 仙田聡子, 石木 学, 浦風雅春, 小林 正, 戸邊一之: インターロイキン 10 のインスリン抵抗性に与える影響に関する検討. 分子糖尿病シンポジウム, 2007, 12, 神戸.
- 26) 薄井 勲: インターロイキン 10 が高脂肪食負荷マウスのインスリン抵抗性に与える影響. 第6回メタボリック症候群 (生活習慣病), 2007, 12, 東京.
- 27) 鈴木ひかり, 尾矢剛志, 薄井 勲, 加藤一郎, 山崎 夕, 藤坂志帆, Agussalim Bukhari, 浅水幸恵, 金谷由紀子, 石木 学, 浦風雅春, 高沢 伸, 岡本 宏, 笹原正清, 小林 正, 戸邊一之: 変異型 CaM Kinase2 トランスジェニックマウスはインスリン依存型糖尿病・糖尿病性腎症を呈し, 腎での PDGF-B 発現が増強する. 第7回日本内分泌学会北陸支部学術集会, 2007, 12, 氷見.

◆ その他

- 1) 山城清二: 新臨床研修制度—3年目の現状と課題—, 平成18年度 RyuMIC 臨床研修指導医養成セミナー, 2007, 1, 13, 沖縄.
- 2) 山城清二: 開業医のための H&P Diagnosis, 小県医師会, 2007, 1, 26, 長野.
- 3) 山城清二: 誰でも診断できる発熱の Common Disease, 丸子中央病院, 2007, 1, 27, 長野.
- 4) 山城清二: 一般臨床医のための H&P Diagnosis, 佐世保医師会, 2007, 3, 23, 長崎.
- 5) 山城清二: 誰でも診断できる発熱の Common Disease, 佐世保中央病院, 2007, 6, 1, 長崎.
- 6) 山城清二: パネルディスカッション「在宅医療時代を考える」, 第37回富山県国保地域医療学会, 2007, 7, 7, 富山.
- 7) 山城清二: 地域の求められる医師とは, 福井県の地域医療の拡大をめざす医学教育シンポジウム, 2007, 8, 16, 福井.
- 8) 山城清二: 地域ぐるみで育てる総合医, 諏訪中央病院, 2007, 9, 28, 長野.
- 9) 山城清二: 地域で育つ総合医～地域包括ケアの強化に向けて～, 2007, 10, 5, 南砺市フォーラム, 富山.
- 10) 山城清二: 新臨床研修制度—4年目の現状と課題—, 富山大学附属病院第4回指導医養成セミナー, 2007, 11, 13, 富山.
- 11) 山城清二: 地域で育つ総合医, 佐世保中央病院, 2007, 12, 6, 長崎.
- 12) 山城清二: 地域医療に求められているもの, 第1回南砺市在宅医療推進セミナー, 2007, 12, 15, 富山.
- 13) 山城清二: 富山型地域医療人材育成プログラム, 県民医療アカデミーオブ e-JAPAN, 2007, 12, 22, 佐賀.
- 14) 山城清二, 北 啓一郎, 薄井 勲, 室林 治, 小林直子: 第15回日本総合診療医学会 (共催), 2007, 3, 17-18, 石川.
- 15) 山城清二, 北 啓一郎, 薄井 勲, 室林 治: 第4回富山県地域医療フォーラム (主催), 2007, 10, 13, 富山.
- 16) 山城清二, 北 啓一郎, 薄井 勲, 室林 治: 第4回北陸総合診療懇談会 (主催), 2007, 10, 20, 富山.
- 17) 北 啓一郎, 薄井 勲, 山城清二: 総合診療部での心身医療 1年間の経験から. 心身医学, 47: (1)59, 2007.
- 18) 北 啓一郎. 心身医療における EBM と NBM—総合診療の立場から—. 心身医学, 47, 177-183, 2007.
- 19) 北 啓一郎. 医原性疾患を防ぐ基本的臨床能力. J I M 第17巻 第11号 924-927, 医学書院, 東京, 2007.
- 20) 北 啓一郎. 心身症と EBM/NBM. 「心身症の診断と治療」永田勝太郎 編著, 25-26, 診断と治療者, 東京, 2007.

- 21) 北 啓一郎. 総合診療における研究の魅力—質的研究—. カレントセラピー 25, 44-48, 2007.
- 22) 北 啓一郎. 「心身症について—逆説的に学ぶ心身症—」. 富山大学保健管理センター紀要 6, 41-46, 2007
- 23) Usui I.: Tumor Necrosis Factor- α Insulin Resistance Pathway Investigated. Endocrine News June, P7,2007
- 24) 薄井 勲:—特集:アディポカインと炎症—マクロファージとサイトカイン 2007年12月号3頁. 興和化学, Medical View.
- 25) 小林直子, 岩田 実, 鈴木ひかり, 小橋親晃, 宇野立人, 石木学, 薄井 勲, 平谷和幸, 山崎勝也, 浦風雅春, 小林正, 林 央周, 遠藤俊郎, 笹岡利安, 福岡順也, 加藤弘巳, 沖 隆: 中部老年談話会. 高分子量 ACTH の産生を認めた下垂体 macroadenoma による Cushing 病の一例. 2007, 2, 愛知.